

農事組合法人 アグリサポート獅子目



Contents 目次

- 4 **特集** Special Feature
子育てひとつながり
- 10 **Hot News**
- 12 まちのおしごと「榎オキス」
- 14 持続可能でくらしやすいまちづくりを目指して
- 16 マイナンバーカードでマイナポイント第2弾
- 18 **インフォメーション**
Information
- 22 放課後は **別** の顔 / タイム トラベル
- 23 のかけ橋 「豊重 正章 さん」
- 24 読者のひろば
- 25 カノヤトリセツ
- 26 **健康** らいふ
- 27 広告のひろば
- 28 プレゼント / MOVIEでかのや / 映画情報



地域の集落と農業を守り、 新たな交流の場を生み出す

田園風景の広がる獅子目町で、大隅初となる稲作の「集落営農」に取り組み農事組合法人アグリサポート獅子目の皆さん。地元有志で構成されたメンバーによって荒廃地になった集落の農業を守っています。「獅子目の未来を守る」という熱い想いと絆で結ばれたメンバー間では、笑いが絶えません。

農事組合法人アグリサポート獅子目は平成7年に発足し、平成24年には大隅初となる集落営農の法人化を経て今年で27年目を迎えます。近年では作業効率化のため、ドローンを使用した農薬散布や無人の田植え機の実演研修会を行い、ノウハウの共有を行うことでさらなる技術向上に取り組んでいます。また、地域との関わりも大切にしており、クリスマスイルミネーションの設置や正月の門松作りは25年以上続いている地元の伝統行事。その他、田植えや収穫後の交流会などを通して、地域住民との交流も図っています。今後は稲作に加えて、価格の高騰する小麦や大豆の作付けなど、新たな事業への展開も計画中。これからも地域の農業を支え、獅子目を守り続けていきます。

農事組合法人
アグリサポート獅子目
代表 持増 喜久夫 さん

獅子目町出身。繁殖牛の飼育をしながら、農事組合法人アグリサポート獅子目で集落営農に携わる。40～80歳代まで幅広い年齢層のメンバーをまとめるリーダー。趣味は魚釣りと365日焼酎を飲むこと。



農業の効率化を目指し、令和3年11月には新たに50・70歳代2人のメンバーが耕運機の免許を取得。いくつになっても、新しいことにチャレンジする気持ちを大切にしています。

今月の表紙

創立100年記念に米づくり

6月12日、創立100年を迎える西俣小学校で、米づくり体験が行われました。児童に昔ながらの米づくりを体験してもらおうと西俣盛り上げ隊壮青年部が企画。参加した児童は、田植えの先生として招待された地域の高齢者と泥まみれになりながら田植えを楽しみました。収穫した餅米は、西俣地区の全戸に記念紅白餅として配布する予定です。



統計情報 令和4年5月1日現在 (前月比)

- ・人口 / 99,695人 (+ 440) ・世帯 / 46,216世帯 (+ 351)
- ・男性 / 47,842人 (+ 278) ・面積 / 448.15km²
- ・女性 / 51,853人 (+ 162)

鹿屋市広報

	市ホームページ			市公式フェイスブック	
	市公式LINE			市総合アプリ「かのやライフ」	
	市政インフォメーション FMかのや (77.2MHz z)	平日 8:05 ~ & 16:05 ~		マチイロ (広報誌閲覧アプリ)	
	かのやファン倶楽部			マチイロ (広報誌閲覧アプリ)	